
平成29年度

学芸員資格取得案内



1. 学芸員とは

2. 履修案内

3. 講義内容の紹介

4. 主な実習先

5. その他、道内の

主な博物館



苫小牧駒澤大学 教育サポートセンター

〒059-1292

苫小牧市錦岡5-2-1番地293号

Tel 0144-61-3122

Fax 0144-61-3333

<http://www.t-komazawa.ac.jp/org/gakugei/>

【苫小牧駒澤大学】 → 【大学総合案内】 → 【学内外リンク集】

1. 学芸員とは

はじめに

博物館や美術館は文化の拠点として、また国際文化交流のかなめとして現代社会で重要な役割を担っています。苫小牧駒澤大学学芸員課程では地域への役割を踏まえ、地域文化を担うことのできる学芸員を養成していきます。卒業後は、たとえ学芸員としての職に就けなかったとしても地域の中で文化活動をおこない、文化振興の担い手となる人材の育成を目指します。

学芸員資格を得ることで文化活動の領域でのチャンスが広がります。ぜひ資格取得にチャレンジしてみてください。

学芸員とは

「学芸員」とは、博物館や美術館、動物園に水族館などに勤務する専門職員です。半世紀ほど前、1951年に制定された「博物館法」とその「施行規則」によって運営されています。学芸員になるには、学芸員資格が必要です。博物館、美術館、郷土資料館などには、資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる学芸員を置かなければならず、社会的にも注目を集めている資格です。

大学で勉強をして学芸員の資格を取ろう

「学芸員」になるためには、試験を受けて「学芸員」の資格をとることもできます。その試験科目を大学における授業科目に編成したのが、平成17年（2005年）より本学に設置された「学芸員資格取得課程」です。学生は学部を卒業するのに必要な単位を修得する（学士号を取得する）のに加えて、「学芸員資格取得課程」の授業科目を履修し、必要な単位を修得すれば、「学芸員」の資格を取得することができます。



—厚真町上野地区において発見された丸木舟—

2007年5月に厚真町上野地区の厚真川河川敷で発見された丸木舟（全長663cm.）中世アイヌ文化期の15世紀に作られた可能性が高く、ほぼ完形のものとしては道内最古級のもの。

鋭利な鉄製の器具を使用して製作されていたこともわかり、当時のアイヌ社会で鉄製品がかなりの規模で普及していた証にもなる。

苫小牧駒澤大学 民族文化資料室所蔵〈厚真町所有〉

2. 履修案内

本学において、学芸員資格を取得するには、年度当初のオリエンテーションに出席し、「博物館に関する科目」の履修登録をしなければなりません。

- 登録をした上で、
1. 学士の称号を有すること
 2. 「博物館に関する科目」の単位を修得すること

の要件が必要です。

- 1 の学士の称号を有するために、皆さんはまず卒業に必要な単位を修得しなければなりません。
- 2 の「博物館に関する科目」の単位については別表の通りです。

※選択必修と選択科目を併せて **32単位以上** の修得が必要です。

*原則、必修科目は「博物館学実習」を履修する4年次までに修得しておいてください。

区分	科目名	単位	履修年次	資格要件単位	
必修	博物館学概論	2	1～3	19単位	
	博物館論1(経営)	2	1～3		
	博物館論2(資料)	2	2～3		
	博物館論3(資料保存)	2	2～3		
	博物館論4(展示)	2	3		
	博物館情報・メディア論	2	2～3		
	博物館学実習	3	4		
	博物館教育論	2	2～3		
	生涯学習概論	2	3		
選択必修	考古学	2	2～4	10単位以上	
	日本民俗学	2	3～4		
	社会人類学	2	3～4		
	仏教美術史	2	3～4		
	文化伝承論	2	3～4		
	生物と環境	2	1～4		
	北海道の自然と食文化	2	2～4		
	アイヌ文化概論	2	1～4		
選択	禅文化概論	2	1～4	2単位以上	
	インド仏教史A	2	2～4		
	インド仏教史B	2	2～4		
	中国仏教史	2	3～4		
	中国禅思想史	2	3～4		
	日本禅思想史	2	3～4		
	日本仏教史A	2	2～4		
	日本仏教史B	2	3～4		
	仏教史特講A	2	3～4		
	仏教史特講B	2	3～4		
	仏教史特講C	2	3～4		
	仏教史特講D	2	3～4		
		日本文化論	2	3～4	2単位以上
		日本史研究A	2	2～4	
		日本史研究B	2	2～4	
		人文地理学概説	2	2～4	
		日本地誌	2	2～4	
		日本宗教史	2	3～4	
		日本食文化論	2	1～4	
		日本思想史	2	3～4	
	日本文学史A	2	2～4		
	日本文学史B	2	2～4		
	日本現代文学論	2	3～4		
	日本法制史	2	3～4		

(選択)	アイヌ文化論	2	3~4	2単位以上	(32単位以上)
	アイヌ口承文芸論	2	3~4		
	アイヌ史A	2	2~4		
	アイヌ史B	2	3~4		
	アイヌ文化実習A	1	3~4		
	アイヌ文化実習B	1	3~4		
	アイヌ文学論	2	3~4		
	北海道文化論	2	2~4		
	北海道地方史	2	2~4		
	北海道地方史特講A	2	3~4		
	北海道地方史特講B	2	3~4		
	北海道文学論	2	3~4		
	北方文化論	2	3~4		
	北東アジア民族史	2	3~4		
	ヨーロッパ文化A	2	2~4	2単位以上	
	ヨーロッパ文化B	2	2~4		
	ヨーロッパ文化C	2	2~4		
	ヨーロッパ文化D	2	2~4		
	ヨーロッパ文化E	2	3~4		
	イギリス文化論	2	2~4		
	アメリカ文化論A	2	3~4		
	アメリカ文化論B	2	3~4		
	オセアニア文化論	2	2~4		
	アジア文化A	2	1~4		
	アジア文化B	2	3~4		
	アジア文化C	2	2~4		
	英米文学史A	2	3~4		
	英米文学史B	2	3~4		
	イギリス文学論	2	3~4		
	自然地理学概説	2	2~4	2単位以上	
	世界地誌	2	2~4		
	世界史A	2	2~4		
	世界史B	2	2~4		
東西交渉史	2	3~4			
異文化交流論C	2	3~4			
地域環境論	2	2~3			
環境保護論	2	3~4			
科学技術と社会	2	1~4			
自然科学の現在	2	1~4			

◇1年生から履修できる科目は履修しておきましょう◇

「博物館に関する科目」のうち、必修科目「博物館学概論」「博物館論1（経営）」および選択必修科目（一般教育科目）「生物と環境」は、1年生のうちから履修できることになっています。学芸員資格の取得を考えている人は、ぜひ、1年生のうち「生物と環境」を履修しておきましょう。

なお、選択必修科目「アイヌ文化概論」、選択科目「禅文化概論」「日本食文化論」「アジア文化A」「科学技術と社会」「自然科学の現在」も同様に1年生のうちから履修できます。

3. 講義内容の紹介

学芸員資格取得課程ならではの特色ある講義をいくつかご紹介します。

博物館論 1 (経営)

～博物館は如何に経営(運営)されるべきか～



教授 岡田路明

●必修科目

【到達目標】 今、日本では博物館学芸員の質の向上が求められている。授業では、単に資格だけの学芸員ではなく、即戦力としての学芸員の要請を目指す。

【講義内容】 博物館を運営し、維持して行くとはどのようなことか。その疑問を解くために、博物館の維持管理に関する実際の教材を用意し、学芸員とは如何なる役目を担うのかを学ぶ。また、実際の博物館運営では地域の中で博物館が果たす役割は大きいものがある。その成果の可否は学芸員の力量に掛かっているといっても過言ではない。授業では、博物館内ばかりではなく、地域内での学芸員の役割等も含めて総合的に学ぶ。

回	講義内容
1	博物館とは (博物館の基本)
2	博物館とは (国内の博物館)
3	博物館とは (海外の博物館)
4	博物館経営とは
5	博物館と学芸員
6	教育の場としての役割
7	博物館での社会教育
8	地域振興の場としての役割
9	公立の博物館経営
10	私立の博物館経営
11	利用者と博物館
12	経営に必要な組織 (内部組織)
13	運営に必要な組織 (外部組織)
14	地域文化と博物館
15	これからの博物館

生涯学習概論

～博物館学芸員を志す人への生涯学習論～

●必修科目（平成29年度閉講）

- 【到達目標】
1. 受講生は生涯学習の概念を理解できる。
 2. 受講生は生涯学習に関わる取り組みを理解できる。
 3. 受講生は博物館における望ましい生涯学習のあり方を説明できる。
 4. 受講生は上記3を実践するため、博物館における教育活動を計画する事ができる。

【講義内容】 生涯学習教育の理念や導入の仕方に関しては、国や地域、セクター、そして活動する個々により様々な考え方がある。本講ではとくに博物館学芸員として求められる、基本的な知識の構築を目標とする。

授業では、生涯学習教育一般の歴史的・理念的構成、国・自治体レベルでの展開と課題、生涯学習社会における学校・地域との関わり、そして博物館における生涯教育・社会教育のあり方と教育者としての学芸員の役割について考察する。

考古学

～どのような学問か～

●選択必修科目（平成29年度閉講）

【到達目標】 考古学は、何を明らかにする学問かを学び、基礎的な方法論、関連諸科学についての基礎力を身につける。すなわち、「人類史における物質文化をあつかい人類のひとなみや、歴史・文化を組み立てる科学」であることを学ぶ。

【講義内容】 考古学の学問としての成立ち、その研究の基礎的な方法論などを講義する。さらに、日本の考古学、北方文化における考古学などを講義し、近隣諸国の考古学について触れ、考古学的な世界観を概観する。また、本講義では、関連諸科学の方法論や考古学の文化財保護についての認識を深め、考古学が果たす社会的な役割についても講義する。

博物館学実習

～基礎知識と心構え～

●必修科目

教授 岡田路明

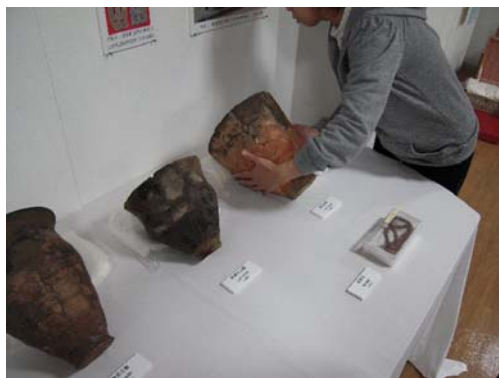
【到達目標】 博物館での実習に必要な基本的知識・礼儀・心構えを身に付ける。

【講義内容】 博物館学実習では、各自が博物館に赴き、一定期間、実際の業務を体験することになる（事前に受け入れ先を調整・決定する）。

したがって、学内での授業時間は、そのための基礎知識・常識の習得と、「心の準備」が基本となる。学外の博物館学芸員を訪問して話しを伺ったり、博物館のあり方について、受講生によるディスカッションをおこなう。

最終的には、実習先における業務・体験をもとに、各自の所感・意見をまとめた実習レポートを提出する。

【博物館学実習（学内実習）の様子】



4. 主な実習先

苫小牧市博物館

〒053-0011

北海道苫小牧市末広町3-9-7

TEL 0144-35-2550 / FAX 0144-34-0408

開館時間 9:30～17:00

入館料 大人 300 円



(財) アイヌ民族博物館

〒059-0902

北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-3914 (代) / FAX 0144-82-3685

開館時間 8:45～17:00 (夏季)

8:45～16:30 (冬季節)

入館料 大人 750 円



仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912

北海道白老郡白老町陣屋町6-8-1

TEL / FAX 0144-85-2666

開館時間 9:30～16:30

入館料 大人 260 円



その他、相談に応じて出身地における博物館等の施設を実習先として決めていくことも想定しておりますが、原則的にはアイヌ民族博物館や苫小牧市博物館を中心とする大学近郊の施設にての実習を予定しております。

5. その他、道内のおもな博物館

北海道開拓記念館

〒004-0006

札幌市厚別区厚別町小野幌 5 3 - 2

TEL 011-898-0456

開館時間 9:30~16:30(入館は16時まで)

隣接する「北海道開拓の村」とあわせて、道内の中心的役割を担う博物館。自然・考古・歴史・民俗の各部門ともに、道内最大規模のスタッフと研究・展示内容を持つ。

北海道立文学館

〒064-0931 北海道札幌市中央区中島公園 1-4

TEL 011-511-7655

開館時間 10:00~17:00 (入館は16時30分まで)

入館料金 常設展/個人一般 250円、大学生 150円

北海道出身やゆかりの文学者について総合的に展示。各種の講演会・セミナーなども充実。

その他、アイヌ民族・北方先住民族については

北海道立北方民族博物館 (北海道網走市字潮見 3 0 9 番地 1 0152-45-3888)

函館市北方民族資料館 (函館市末広町 21-7 0138-22-4128)

シャクシャイン記念館 (静内町字真歌 7 01464-2-2789)

などが有名です。

そのほかにも、各地の多くの市町村に、博物館や資料館があります。美術館や動物園、水族館も博物館です。学芸員資格の取得を考えている学生は、さまざまな機会になるべく多くの博物館に足を運んでみることをお勧めします。

表紙 チカッカペ ※着物

砂澤代恵子氏製作、本学蔵

タマサイ (児玉コレクション) ※装身具

アイヌ民族博物館所蔵



苫小牧駒澤大学

教育サポートセンター

TEL 0144-61-3122 (直通)

E-mail kyomu@e.t-komazawa.ac.jp